

基本目標

7

市民の活力があふれるまち

大和市の人口推移は微増の状態にありますが、将来は、減少傾向に転じることが見込まれ、市全体の活力の低下につながることも考えられます。こうした中で、今後も活力を維持し、高めていくためには、人々の交流や活動を活発にしていく必要があります。

人々がお互いを認め合い尊重し合う中で、良好な人間関係が形成されることは、地域の活力を高めていくために非常に重要です。大和市には多くの外国人が居住しており、国籍を越えた活発な交流による相互理解を深めていくことも大切です。

商店街や企業などの活発な経済活動は、人々を呼び込み、地域に活気とにぎわいをもたらします。また、大和市の魅力を内外にアピールすることは、さらなる交流人口の拡大につながります。

さらに、市民一人ひとりが地域活動や市民活動に参加し、各々の力を出し合うことで、地域の活力が高まります。

大和市は「健康創造都市」の実現に向けて、人と人とのつながりを広げ、様々な活動が行われる、市民の活力があふれるまちづくりを推進します。



基本目標を実現するための個別の目標



個別目標

7-1

互いに認め合う社会をつくる

あらゆる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重されているとともに、男女共同参画や多文化共生が実感できる社会をつくっていきます。

個別目標

7-2

にぎわいのある地域をつくる

市内の産業を活発にするとともに、観光資源を活かして交流人口を拡大し、にぎわいのある地域を創出していきます。

個別目標

7-3

地域活動・市民活動を活発にする

多くの市民が主体的に活動できる環境を整え、地域活動や市民活動を活発にしていきます。

個別目標

7-1

互いに認め合う社会をつくる

市民一人ひとりが自分らしく生きていくためには、年齢や性別、国籍などに関わらず、教育や就業の機会が等しく与えられるとともに、お互いを思いやり認め合う気持ちをもつことが最も大切です。

また、男女が性別にとらわれず、社会のあらゆる分野に参画できる環境づくりを進めることや、言葉や国籍の異なる人々が、地域に暮らす一員として、互いの文化や生活習慣を認め、協力し合う関係を築いていくことの必要性が一層高まっています。

大和市は、あらゆる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重されているとともに、男女共同参画や多文化共生[※]が実感できる社会をつくっていきます。



※多文化共生

国籍、民族、性別、年齢が異なる様々な文化や個性を持った人々が、互いの違いを認め、共に存在し、自分が自分らしく生きる社会としていこうという考え方です。

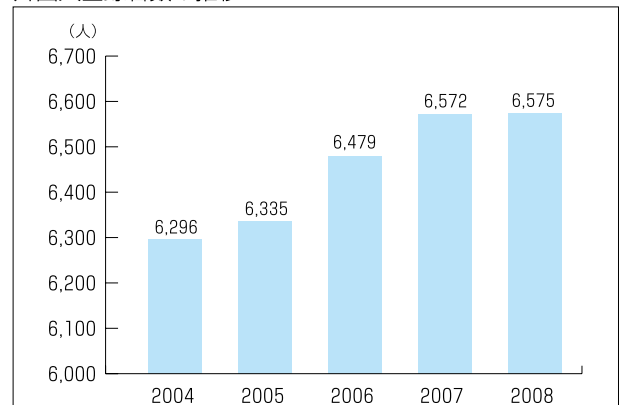
基本目標を実現するための個別の目標

1	めざす成果	あらゆる差別がなくすべての人が、互いの人権を尊重し合っている 年齢、性別、国籍、障がいの有無などによる差別がなく、また、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場面において、誰もがその人らしく生き生きと活動しています。		
		地域に差別意識はないと思う市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
	成果を計る指標	60.7%	65.0%	70.0%

2	めざす成果	男女共同参画が実感できている 男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる場面で協力し、社会の発展を支えています。		
		男女が平等であると感じる市民の割合		
		現状値(2004)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
	成果を計る指標	18.1%	35.0%	35.0%
		審議会、委員会などにおける女性委員の割合		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		24.4%	50.0%	50.0%

3	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている 大和市を来訪する外国人、大和市に居住する外国人と市民の間に活発な交流を通じた相互理解が進んでいます。		
		国際交流が行われていると思う市民の割合		
		現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
	成果を計る指標	18.7%	20.0%	25.0%
		外国人を支援するボランティア登録者数		
		現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
		130人	150人	200人

外国人登録者数の推移



資料:市民課(各年4月1日時点)



個別目標

7-2

にぎわいのある地域をつくる

経済活動は、人々の働く場と収入を確保する場として、また、様々なサービス、製品、新鮮な農産物などの消費の場として、市民が生活を営むうえで重要な役割を担っています。

大和市は、これまでの商店街活動や企業活動、農業生産活動を促進することはもちろん、新たな起業活動を支援し、地域の産業を活発にするとともに、泉の森などの豊かな自然や各種のイベントなどの観光資源を活かして交流人口を拡大し、地域ににぎわいを創出していきます。



※勤労者サービスセンター
中小企業が集って勤労者の福利厚生事業を行う任意団体で、事務局は大和市勤労福祉会館内にあります。

※地産地消
地元で生産したものを、地元で消費することです。

※朝霧市、夕やけ市、おさんぼマーケット
大和市内にある直売市です。朝霧市は日曜日、夕やけ市は木曜日、おさんぼマーケットは主に土曜日に開催しています。

※就従比率
市内居住の就業者と市内に勤務している従業者との比率です。就従比率が100%を超える場合は、市外への通勤流出よりも市内への通勤流入が上回ることを示し、産業が活発であるとされています。

基本目標を実現するための個別の目標

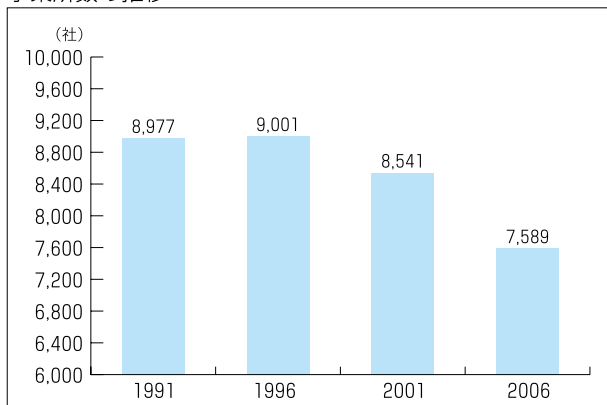
1	めざす成果	商店街や企業が活発に活動している
		商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。 また、新たに事業を始める人が増えています。
		大和市は、買い物しやすいと思う市民の割合
		現状値(2008) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		66.6% 68.0% 70.0%
		市内商業者が商店街団体に加入している割合
1	成果を計る指標	現状値(2008) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		84.7% 85.0% 85.0%
		法人設立数
		現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		336件 350件 350件

2	めざす成果	市内で働く人が増え、生き生きと働いている
		市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場で働く人の就労環境が、安全で快適な状態に保たれています。
		市内事業所従業員数
		現状値(2006) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		81,414人 81,500人 81,500人
		勤労者サービスセンター*の加入者数
2	成果を計る指標	現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		3,957人 4,300人 4,500人
		勤労者サービスセンターの加入事業所数
		現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		890社 960社 1,000社

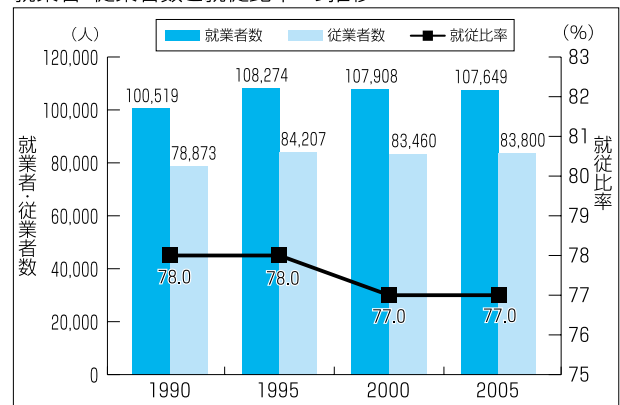
3	めざす成果	地域農産物の消費が安定的に行われている
		市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消*のしくみが整っています。
		直売所などで販売する農家数
		現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		146軒 146軒 146軒
		朝霧市、夕やけ市、おさんぽマート*の年間開催回数
3	成果を計る指標	現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		197回 200回 200回

4	めざす成果	「大和」に多くの人が訪れている
		大和市の魅力をアピールすることで多くの人を呼び込み、活発に交流が行われています。
		観光イベントの総来場者数
		現状値(2007) 中間目標値(2011) 目標値(2013)
		1,435,042人 1,550,000人 1,600,000人
4	成果を計る指標	

事業所数の推移



就業者・従業員数と就従比率*の推移



個別目標

7-3

地域活動・市民活動を活発にする

大和市では、自治会活動や、コミュニティセンター[※]での活動など、地域の活動が活発に行われています。また、近年では、福祉や環境など様々な分野における団体の活動が増えてきています。

市民自ら地域の課題を解決する力と地域の活力を高めるため、これからも、地域活動、市民活動に関わる団体と行政が、それぞれの役割分担によって、様々な取り組みを行っていくことが重要です。

大和市は、多くの市民が主体的に活動できる環境を整え、地域活動や市民活動を活発にしていきます。



※コミュニティセンター
地域の方々の学習やコミュニティ活動
の場を提供する施設です。市内に20館
設置されています。

※市民活動センター
2004年（平成16年）に開設された、
市民活動を推進、応援、共有する施設
です。

現状値(2007)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
61.0%	63.0%	65.0%

現状値(2008)	中間目標値(2011)	目標値(2013)
252団体	277団体	304団体

資料:自治会連絡協議会(各年6月1日時点)

資料:市民活動課(各年10月1日時点)